

1 事業概要

		課名	危機管理室	事業No.	255
事務事業名		会計	一般会計		
		事業区分	政策	実施区分	継続
		開始		終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称	
	戦略計画				
	分野別計画			第11次消防力（消防団）整備計画	
	法令・例規等			消防法	
				動力消防ポンプの技術上の規格を定める省令	
事業目的		対象	市民の生命と財産及び消防団員		
		意図	地域防災力向上につなげるため、よりよい機関機材の更新整備及び耐震貯水槽の適正配置		

2 事業内容

1年度取組	取組内容	経費の内容	事業費(千円)
	<ul style="list-style-type: none"> 第11次消防力（消防団）整備計画に基づき、車両更新（消防自動車：下久堅）（小型動力ポンプ付積載車：原・宮崎、名古屋）（小型動力ポンプ付多機能型積載車：大明神）整備を行いました。 消防団における人材育成として、応急手当普及員の資格取得や同資格再講習の受講などを積極的に推進し、継続的な消防体制強化を図りました。 地域防災力向上につなげるため、耐震性防火水槽（時又、長野原）を新設しました。 	消防自動車更新（1台）	16,808
小型動力ポンプ付積載車(2台)		18,280	
小型動力ポンプ付多機能型積載車（1台）		14,498	
C-1ポンプ		800	
消火栓表示業務委託料		224	
防火水槽補修工事費		715	
詰所解体工事費（旧第16分団本部詰所）		2,838	
詰所修繕料		508	
耐震性貯水槽設置（2基）		11,143	
その他の経費		229	

活動指標	指標名（数値で表せる活動量）	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
			車両更新	台	4	6	5	5	4	4
耐震貯水槽	基			1	1	3	2			

1年度決算(千円)	予算額	78,132	特定財源内訳及び補足事項								
	決算額	66,043	(地)緊急防災・減災(充当率100%)								
	財源の状況	国庫支出金	0								
		県支出金	0								
		地方債	59,500								
		その他	0								
	一般財源	6,543									

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	9	1	3	11	2	72,571	61,718	消防体制強化整備事業費(単独)
2	1	9	1	3	11	3	4,600	3,386	消防団詰所整備事業費
3	1	9	1	3	11	5	961	939	消防用施設整備事業費
4									
5									
6									
7									

振返り課題認識	第11次消防力（消防団）整備計画に基づき消防車両等の更新を進めていますが、道路交通法等の改正により普通免許で運転できる範囲が限定されたため、近い将来準中型免許の取得が必要となる事態が想定されます。
上記の課題解決のための有効策	車両更新における積載品については、消防団員が扱いやすい消防資機材などを研究しながら配備を進めました。次期整備計画では、準中型自動車免許取得費用に対する公費助成制度の創設に向けた調査、研究を進めていきます。
次年度に向けての取り組み	人材育成として、応急手当普及員の資格取得や同資格再講習の受講などを積極的に推進し、継続的な消防体制強化を図ります。第12次消防力（消防団）整備計画策定に向けて委員会を開催し、普通免許で運転可能な車両の研究（車両の軽量化）や準中型免許取得に係る費用負担について検討していきます。